

学術フォーラムの概要について（事後報告）

- 1 名称：持続可能な社会を創り担うための教育と学習のチャレンジ
- 2 日本学術会議以外の共同主催団体等：
後援：Future Earth 国際事務局日本ハブ、Future Earth 日本委員会、
地理学連携機構、日本ESD学会、ESD活動支援センター、
NPO法人ESD-J、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター
- 3 開催日時：令和4年6月5日（日）13:00～17:00
- 4 開催場所：日本学術会議講堂（オンライン併用）
- 5 開催趣旨：
持続可能な世界を目指す国際プログラムであるフューチャー・アース、SDGs（国連持続可能な開発目標）、ESD（持続可能な発展のための教育）などの活動が活発化していますが、それらの推進には学術と社会、それに教育、特に学校教育との連携が重要です。カリキュラムマネジメントと評価、地域における学習の実践、学校と地域の連携などについての議論も深める必要があります。これらについて研究者、現場教員（生徒も含む）などからの報告を参考に、参加者全員で多角的に考えるものとして開催します。
- 6 参加人数：
講演者等：19名
その他の参加者：現地参加者、オンライン参加者 計 141名
- 7 特記事項：
 - ・本フォーラムの成果は、持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会およびフューチャー・アース、カーボンニュートラル、IYBSSD、SDGsに関する委員会等の審議活動に反映されます。
 - ・本フォーラムでの議論は、『学術の動向』に特集企画として掲載の予定です。